

基本情報



【年齢】
27歳
【出身地】
兵庫県芦屋市
【転出元】
神奈川県茅ヶ崎市
【前職】
総合デベロッパー
→フリーランス（スポーツ関係）
【活動時期】
R3.12～（1年目）

協力隊に応募したきっかけ

【知ったきっかけ】九州移住を検討しており、その中で佐賀県・福岡県にて仕事を探していた。佐賀県唐津市の移住相談ができるNPO団体から佐賀県庁の仕事をご紹介いただいた。

【応募したきっかけ】県庁の募集が複数ある中で、現在の「くらしのモビリティサポーター」の活動に強い関心を抱いた。また地域に“最適な”交通を関係者と見つけていくという仕事の進め方が自身に合うと感じたため応募に至った。

今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】自身以外にも地域交通を考えていくサポーターを増やし、3年間で終わりのムーブメントにしないようにしたい。また交通に対する課題は日本全国同じなので、地域交通に関わる協力隊が増えるように働きかけをしたい。

【任期後の目標】実際に行政の中に入り、行政の仕組みを学ぶ機会は貴重であること。また県全体の仕組みづくりに関われることは、県庁所属の協力隊であるメリットだと考える。この経験を任期後も活かしていきたい。

活動内容

●交通と福祉の連携により既存の地域交通の魅力を高める

佐賀県基山町の交通担当・生活支援コーディネーター（SC）と連携をしている。地域内で「くらしのモビリティサポーター」を担える人材を増やしていきたいと、高齢者との接点が多いSCに注目した。SC向けのコミバス乗車体験会、交通担当と福祉担当との座談会を開催。今後、SC主催のコミバスイベントなどを開催予定であり、引き続き取り組みをサポートしていく。



●市町交通担当との関係構築・既存交通への乗車体験など

コミバスや予約型のりあいタクシーといった地域交通は市町が主体的に運行するものであるため、まずは市町交通担当に私の存在を知っていただくことに重きを置いている。また県内の地域交通の状況を知るために、コミバス中心に乗車体験中。運転手や利用者との会話、窓から見える街のつくりや家・車の保有数を見ながら、地域の特徴をインプットしている段階。



●地域主体の移動手段確保の動きをサポート

公共交通空白地域もしくは交通が不便な地域において、住民主体の動きが増えている。地域内の高齢者の移動手段確保に関するサポートを県として行ったり、社協を通して地域から移動手段に関する相談があったり、少しずつ直接相談をもらう案件が出てきている。移動手段の導入には手順や優先順位があるため、自身も勉強しながら対応している。
※この場合も市町の交通担当と連携を図りたいと考えている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】佐賀県庁さが創生推進課 木村宛
(メールアドレス) sagasousei@pref.saga.lg.jp (所属)
(電話番号) 0952-25-7505 (所属)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebookページ) 「くらしのモビリティサポーター」で検索
<https://www.facebook.com/kuramobisaga>